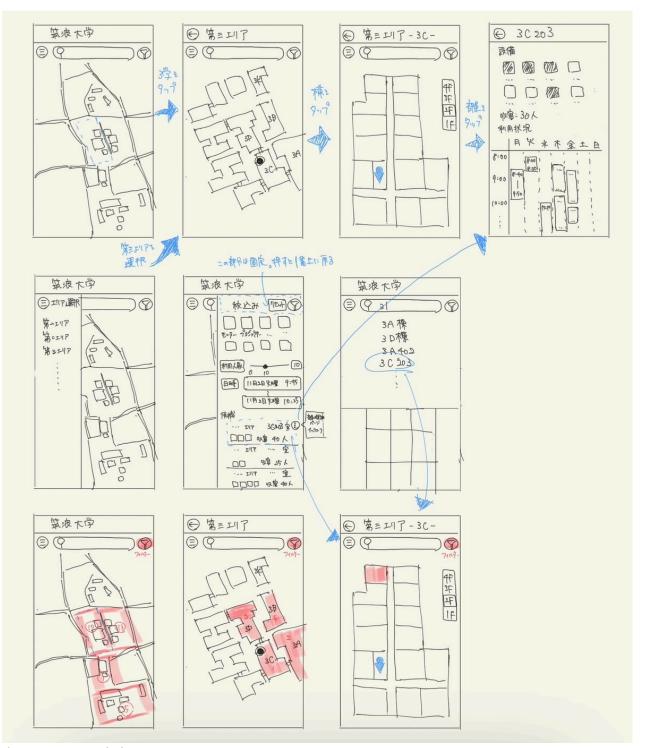
## 簡易プロトタイピングによるユーザインタフ エース設計

## 検討会説明用資料 3班

202211879 新井 皓陽 202212115 近 和 202210779 山田 悠真

- 対象システムの選定
  空き教室確認システム(新規作成を想定)
- 2. 解決を目指す問題の決定
  - 学内マップで教室の利用状況の把握ができない
  - 学内マップ等の現存するマップでは教室の設備状況の把握が困難
- 3. 評価するHIの素案の決定
  - 表示形式
    - 。 基本的にマップ形式
      - 階層構造で移動
    - 。 検索時にリスト形式
      - マップに遷移も可能
    - 。 教室の利用状況を表形式
  - マップの機能
    - 。現在地の表示
    - 。 設備アイコン
    - 。 空いている教室を色付け
    - 。 教室の利用予定表を表示
  - 検索の機能
    - 。 条件付き検索も可能
      - 日時指定
      - 設備指定
      - 人数指定
      - エリア指定
    - 。教室名検索
    - 。 教室の利用予定表を表示



## 4. 実験参加者のタスクの決定

- i. マップ遷移課題
  - -> 「現在地と近くのプロジェクターのある空き教室を見つける」
- ii. 条件の絞り込みを用いる課題
  - モニター有り
  - 第3エリア
  - 1月31日 金曜日の15時15分から18時
  - 収容人数が20人以上

- iii. 検索窓を用いる課題
  - -> 6A202 ビジュアルデザイン室の利用予定表を確認
- 5. 取得データと取得方法の決定
  - i. 操作回数
  - タップ数
  - マップ遷移回数
  - ii. 時間
  - iii. アンケート
  - 利用しての感想
  - アイコンはわかりやすかったか
  - 面倒に感じた部分

•

- 6. データの解析方法の決定
  - KLMモデルで計算する
  - フィッシュボーン図で問題があった部分を掘り下げる

## フィッシュボーン図

10

- □ 曖昧な問題を、問題と原因、対策にブレイクダウンし、俯 瞰するためのツール
  - 複雑な問題を見える化して複数の解決アプローチを探る

